

令和7年度 事業実績報告（案）

1 会議の開催

開催日	会議名	協議事項等
令和7年 5月19日	第1回 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業実績報告（案）及び決算（案）について ・令和7年度事業計画（案）及び予算（案）について ・陶デマンド交通の運行について ・瑞浪市地域公共交通計画の記載変更について ・地域公共交通確保維持事業に係る事業計画（案）について ・瑞浪市地域公共交通計画の評価等結果（案）について
令和7年 5月19日	第1回 運賃料金 部会	<ul style="list-style-type: none"> ・陶デマンド交通の運賃について
令和7年 6月3日 (書面開催)	第2回 運賃料金 部会	<ul style="list-style-type: none"> ・陶デマンド交通の運賃について
令和7年 8月14日 (書面開催)	第3回 運賃料金 部会	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市観光協会が運行する観光デマンド交通の運賃について
令和7年 8月14日 (書面開催)	第2回 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市観光協会が運行する観光デマンド交通の運行内容（運賃以外）について ・瑞浪市地域公共交通計画の評価等結果（案）について
令和7年 10月15日	第3回 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・東鉄バス明智線の400円上限運賃制度について
令和8年 1月29日	第4回 協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪市コミュニティバス運行内容変更（案）について ・瑞浪市デマンド交通運行内容変更（案）について ・地域公共交通確保維持改善事業・事業評価（案）について ・瑞浪市コミュニティバス車両の移動円滑化基準適用除外について ・恵那市自主運行バス（瑞浪山岡線）の運行内容変更（案）について

2 地域公共交通計画の認定申請

瑞浪市地域公共交通計画の認定申請を行った。

申請事項としては、利用者の増加を図るため、例年行っている時刻表の全戸配布、制度説明会の積極的な開催や観光利用制度の促進、デマンド交通の新規登録者の開拓と利用促進に向けた乗り方教室の開催に加え、令和7年10月より導入した陶デマンド交通の目標等とした。

3 コミュニティバス運行内容の変更

(1) 路線の新設・廃止

下記のとおり路線を新設・廃止した。

対象路線	対象箇所	延長	変更理由
① ・瑞浪中央線 ・山田線 ・土岐線 ・萩原線 ・釜戸＝大湫線 ・日吉線	【新設】 瑞浪市寺河戸町字竜門 1043 番地の 18 先 瑞浪市土岐町字河原 7500 番地の 26 先	0.13km	東濃厚生病院の移転に伴い、「東濃厚生病院前」バス停を廃止し、「診療所バスターミナル」バス停を新設するため。 【※バスターミナル関連】
		0.05km	
	【廃止】 瑞浪市寺河戸町字落田 1076 番地の 2 先 瑞浪市寺河戸町字落田 1072 番地の 28 先	0.10km	
		0.05km	
② ・瑞浪中央線 ・山田線 ・萩原線 ・釜戸＝大湫線 ・日吉線	【廃止】 瑞浪市寺河戸町字落田 1076 番地の 2 先 瑞浪市寺河戸町字落田 1083 番地の 1 先	0.15km	将来、現東濃厚生病院の場所にて中京高校が開校した際に、高校生の歩行が増加することが見込まれるが、市道昭和通線は狭隘であり危険であるため、市道公園通線を通るルートとする。
③ ・山田線	【新設】 瑞浪市穂並 2 丁目 15 番地先 瑞浪市穂並 1 丁目 3 番地先	0.05km	市道河戸・山田線は狭隘であり対向車とのすれ違い時に支障があるため、市道穂並 7 号線・市道穂並 8 号線を通るルートとする。
		0.05km	
	【廃止】 瑞浪市山田町竹之下 734 番地の 2 先 瑞浪市穂並 1 丁目 3 番地先	0.35km	

(2) 停留所の新設・廃止・移設

下記のとおり停留所を新設・廃止・移設した。

【新設】

対象路線	対象停留所名称	新設理由
・瑞浪中央線 ・山田線 ・土岐線 ・萩原線 ・釜戸＝大湫線 ・日吉線	・診療所 バスターミナル	中山自動車跡地を交通結節点とし、厚生連が運行する公立東濃中部医療センターと東濃厚生病院跡地を結ぶシャトルバスと、市内の公共交通（コミュニティバス・北部デマンド交通）の乗り継ぎを考慮し、利便性の向上を図る。 【※バスターミナル関連】

<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪中央線 ・山田線 ・土岐線 ・萩原線 ・釜戸＝大湫線 ・日吉線 	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃信用金庫 瑞浪支店西 	(1)－②に伴う。
<ul style="list-style-type: none"> ・釜戸＝平山線 	<ul style="list-style-type: none"> ・長場 	地元要望による。

【廃止】

対象路線	対象停留所名称	廃止理由
<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪中央線 ・山田線 ・土岐線 ・萩原線 ・釜戸＝大湫線 ・日吉線 	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃厚生病院前 	(1)－①に伴う。 【※バスターミナル関連】
<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪中央線 ・山田線 ・土岐線 	<ul style="list-style-type: none"> ・東濃信用金庫 瑞浪支店前 	(1)－②に伴う。

【移設】

対象路線	対象停留所名称	移設理由
<ul style="list-style-type: none"> ・瑞浪中央線 ・山田線 	<ul style="list-style-type: none"> ・バロー瑞浪店前 	(1)－③に伴う。
<ul style="list-style-type: none"> ・釜戸＝平山線 	<ul style="list-style-type: none"> ・川戸 	地元要望による。

(3) 運行時間の増便

瑞浪クリエーション・パーク企業連合会からの要望を受け、山田線において、クリエーションパーク発の便を増便した。

路線名	修正内容
山田線（左回り）	瑞浪クリエーションパーク 17：25 を追加

(4) 運行時間の一部変更

萩原線において、厚生連が運行するシャトルバスとの乗り継ぎを考慮した運行時間に修正した。

路線名	修正内容
萩原線（上り）	運行開始時刻を 8：40 から 8：55 に変更 " 12：50 から 12：00 "

萩原線（下り）	運行開始時刻を12:05から11:20に変更
	〃 15:10から13:50 〃

4 デマンド交通運行内容の変更

(1) 乗降場所の新設・移設・廃止

下記のとおり乗降場所を新設・移設・廃止した。

【新設】

ルート	乗降場所名	新設理由
■北部デマンド交通 ・日吉～明世ルート ・大湫～日吉東部ルート ・釜戸ルート	診療所バスターミナル	バス停の新設に伴う。 【※バスターミナル関連】
■北部デマンド交通 ・釜戸ルート	長場	バス停の新設に伴う。
■北部デマンド交通 ・釜戸ルート	東大島	地元要望による。

【移設】

ルート	乗降場所名	移設理由
■北部デマンド交通 ・釜戸ルート	川戸	バス停の移設に伴う。

※上記乗降場所については、フリー乗降区間としているため、利用者の乗降については、影響がないものとする。

【廃止】

ルート	乗降場所名	廃止理由
■北部デマンド交通 ・日吉～明世ルート ・大湫～日吉東部ルート ・釜戸ルート	東濃厚生病院前	バス停の廃止に伴う。 【※バスターミナル関連】

(2) 運行時間の一部変更

日吉～明世ルートにおいて、厚生連が運行するシャトルバスとの乗り継ぎを考慮した運行時間に修正した。

ルート	修正内容
■北部デマンド交通 ・日吉～明世ルート	往路第1便の運行時刻を10:00～10:10から9:40～9:50に変更
	〃 10:10～10:20から9:50～10:00 〃
	〃 10:40～10:50から10:20～10:30 〃

5 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー計画事業）の事業評価

地域内フィーダー計画事業については、毎年、地域公共交通協議会において事業評価

を行う必要があり、計画の進捗状況について評価を行った。

デマンド交通の利用促進に取り組むため、デマンド交通登録者へのアンケート調査を実施し、利用者ニーズの把握に努めた。また、区長会に出向いてデマンド交通の現状及び制度説明を実施し、地元住民への利用を促した。加えて、デマンド交通の出張乗り方教室を開催し、利用拡大に努めた。

その他、市内を運行する東鉄バス明智線の路線維持のため、恵那市とともに補助金を交付し、後述する東鉄バス明智線の400円上限運賃の導入を検討した。

6 陶デマンド交通の導入について

コミュニティバス陶線については、市中心部と繋がっていないこと、コロナ禍以降車利用が定着したことなどから利用者が減少傾向にあり、地域からデマンド導入の要望があった。

こうしたことから、「地域の特性や住民ニーズにあった交通手段の確保」を方針に、交通空白地を改善して利便性を高めるため、令和7年10月よりコミュニティバス陶線を陶デマンド交通に転換した。

7 東鉄バス明智線の400円上限について

市内公共交通の運賃体系は、コミュニティバスが距離に応じ100円から400円、市内北部地域のデマンド交通は500円と、距離に応じた負担となっている。

令和7年度の第1回協議会にて、委員より上限運賃400円の協議再開について要望され、その後の協議の結果、令和8年4月より制度を導入することとなった。

8 AI オンデマンド交通の導入検討視察について

交通空白地の解消や利便性の向上を目的とし、AI オンデマンド交通の導入を検討するため、先進事例として、株式会社アイシンが開発した「チョイソコ」の視察を行った。

意見聴取の結果、瑞浪市の公共交通システムとして適切だと思うという意見があったものの、費用対効果や継続可能性等を課題とする意見もあったため、今後も情報収集に努め、慎重に導入について検討を行う。